

暑さに負けない! 彩のかがやき栽培暦

早植栽培



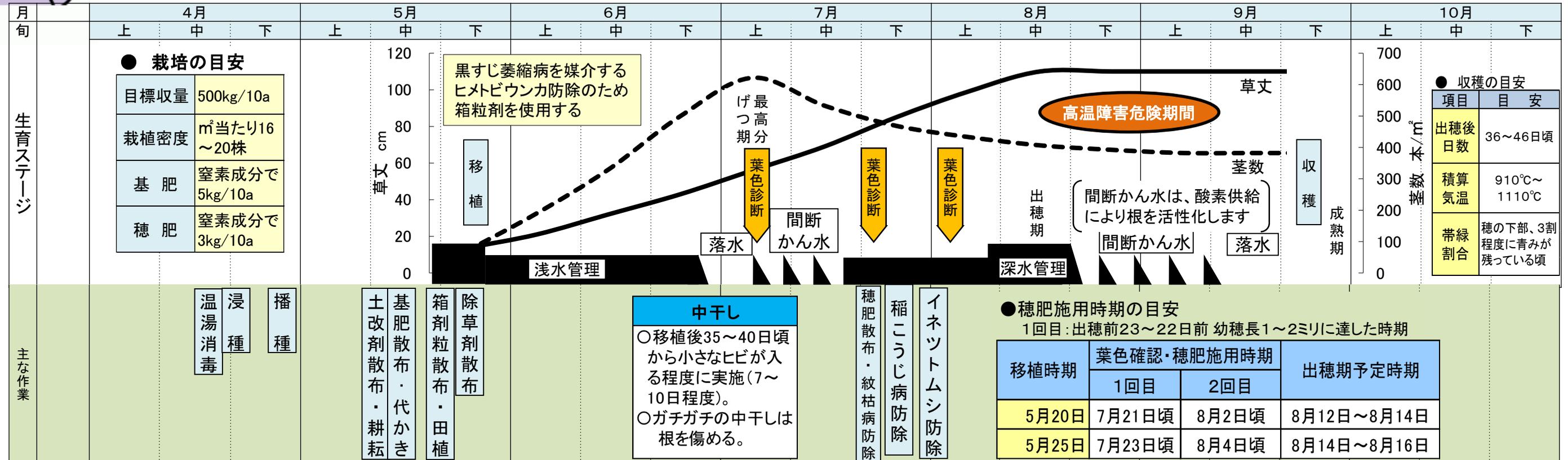
暑さ対策の
2大ポイント

移植期を遅らせることが有効な手段
出来る範囲で移植を遅らせよう

※農業用水の取水期間・量は地域毎に決まっていますので御確認下さい

葉色の低下は高温障害の危険信号!
葉色診断による追肥を
確実にしよう

埼玉県マスコット「コバトン」



育苗

- 温度管理に注意。30℃を超えるような高温はムレ苗や苗立枯病の原因となるので絶対に避ける。
- 晴れた日のトンネルのかけっぱなしは厳禁!

穂肥

- 上表「穂肥時期の目安」および下表「葉色診断による追肥方法」を参考に実施!
- 一発肥料の場合も葉色4以下の場合は穂肥を行う。

● 葉色診断による追肥方法(追肥量は窒素成分、葉色は群落値)

| 時期 | 移植後40~45日頃 | 穂肥① 出穂前23~22日 | 穂肥② 出穂前15~10日 |
|----|--------------|---------------|--------------------------------------|
| 葉色 | 4.5以下 | 4.5以上 | 4以下 |
| 追肥 | 2kg/10a程度を追肥 | 追肥は行わない | 4以下になるまで追肥は行わず、4まで低下したら2kg/10a程度を追肥。 |

注 1. 穂肥①施用時の葉色が著しく低い場合(3以下)は穂肥②を出穂前15日頃に行う。

出穂~収穫までの水管理

- 穂肥施用後~出穂後7日までは湛水状態を保つ。
- 出穂後7日以降は水を入れっぱなし、張りっぱなしにせず、田に入水したら水口を閉めて断水し、自然に落水させる間断かん水を行う。
- 間断かん水は一週間に1サイクルとし、3~4日ごとに湛水と断水を繰り返す。
- 完全落水は収穫10日~2週間前とし、早期落水は絶対に避ける。

収穫

- この品種は穂下部の帯緑が抜けにくいいため、穂全体が黄化するまで待つと刈り遅れとなるので十分注意する。
- 特に高温時には登熟日数が極端に短縮することもあるので、注意!